

防災の絆・石川

No.28<1.5.27>発行責任者

NPO 法人石川県防災士会

会 長 中野 忠史

事務局 長 中島 辰史

Email sp4t33n9@friend.ocn.ne.jp

中野・中島体制スタート

2019年度総会を4/21に開催

山本政廣氏・上野秀雄氏が活動事例発表会

新元号への改元直前となる平成最後の総会が平成31年4月21日(日)午後1時30分から金沢市松ヶ枝福祉館(金沢市高岡町7-25)4階集会室で会員87名が参加して開催された。

総会に先立ち、MRO横田佳政報道部長が昨年の石川県における災害報道について基調講演され、山本政廣氏防災士が「木場町の防災の歩み」と題して、上野秀雄氏防災士がパソコンやスマホの活用について発表しました。

来賓には、馳浩衆議院議員・中村勲・谷内律夫・八田知子県議会議員・村上勝石川県危機管理監室次長・木村裕一金沢市危機管理監の6名をお迎えしました。総会では議長に小崎淳子氏を選出し、総会書記に松永透氏を、議事録署名人に松田陽氏と東茂男氏をそれぞれ選出して議事に入った。前年度の活動報告、会計報告、会計監査報告が提案どおり承認された後、今年度の活動計画と定款改正案が福谷事務局長から、予算案が中島事務局次長から提案されそれぞれ提案どおり承認された。

定款改正では、役員の定年制を導入し、4/1現在で満75歳で定年となります。(1期2年まで再任可能)

また、今回の総会が2年に1回の役員改選時期に当たり、杉村副会長から新役員案が提案され、提案どおり承認されました。新役員には、八田知子県議を参与に、土田理事長に代わって中野忠史氏が理事長に選任、福谷事務局長に代わって中島辰史氏が事務局長に選出された。また、新理事には横浜恵・小崎淳子・越原智恵子の女性3名が、監事が長田竜夫氏から織部資子氏にそれぞれ交代した。今回改選された役員の皆さんは次のとおり。

平成31・令和元、2年度役員名簿

NPO法人石川県防災士会

	役職名	氏名	事務分掌
再	顧問	若狭 武	
新	顧問	土田 満	
再	参与	中村 勲	渉外
再	参与	谷内 律夫	渉外
新	参与	八田 知子	渉外
新	理事長	中野 忠史	総括
再	副理事長	大月 真由美	女性部会・情報・広報・加賀ブロックリーダー
再	副理事長	杉村 良洋	NPO・機械・金沢市南部ブロックリーダー
再	副理事長	福谷 正信	郵便局長会リーダー・事務局担当
再	副理事長	南 文夫	総務・郵便局長会北加賀分会責任者(木津郵便局長)
新	副理事長	中田 隆彦	郵便局長会南加賀分会責任者(大聖寺中央通郵便局長)

新	副理事長	菊池 俊成	郵便局長会能登分会責任者（御祖郵便局長）
新	副理事長	中島 辰史	事務局長・事務局総括（会計）・郵便局長会サブリーダー
再	理事	市濱 等	渉外・機械・能登ブロックおうサブリーダー
再	理事	上野 秀雄	情報（広報）リーダー・金沢市北部ブロックサブリーダー
再	理事	鍛冶 庄一郎	渉外・広報・能登ブロックリーダー
再	理事	北川 文男	研修指導・災害時・渉外
再	理事	國田 行男	情報（広報）・金沢北部ブロックサブリーダー
新	理事	小崎 淳子	
新	理事	越原 智恵子	
再	理事	坂本 泰広	渉外
再	理事	白山 小太郎	研修・広報・能登ブロックサブリーダー
再	理事	鈴坂 忠和	金沢市中央部ブロックリーダー
再	理事	竹川 操枝	研修・情報（広報）・女性部
新	理事	田畠 正成	郵便局長会能登分会リーダー（金丸郵便局長）
再	理事	中山 幸永	機械・広報・能登ブロックサブリーダー
再	理事	濱田 英一	機械・研修
再	理事	東 茂男	事務局・金沢市中央部ブロックサブリーダー
再	理事	前 千代子	研修・女性部
再	理事	松田 陽	研修・広報
再	理事	松永 透	郵便局長会北加賀分会リーダー（野々市郵便局長）
再	理事	大和 誠史	渉外・研修・金沢市北部ブロックリーダー
再	理事	山本 政廣	渉外・研修・広報・加賀ブロックサブリーダー
新	理事	横浜 恵	
再	監事	谷内 静雄	渉外
新	監事	織部 資子	郵便局長会サブリーダー（倉光郵便局長）

理事は五十音順

穴水町で防災士会が結成される

福谷事務局長が「自主防災組織における防災士の役割」について講演

去る3月10日（日）に穴水町役場3階大ホールで穴水町防災士会結成総会が結成総会が開催され、50名の会員が参加した。会員は町内の188名の防災士のうち107名。

総会は役場 小谷政一生活環境課長の司会進行で進められ、山岸春雄副町長が挨拶された後 会則と新役員選出が満場一致で採択された。勝井寛千男氏（穴水地区・当会会をスタートした。

会長以外の新役員はは次のとおり。

副会長 増野 孝志氏（諸橋地区）

同 加代 正氏（穴水地区）

理事 丸金 良二氏（住吉地区）

同 坂本 貢氏（兜地区）

総会終了後には福谷正信事務局長が「自主防災組織における防災士の役割」と題して、防災士の心構えや防災士の立ち位置等について、これまでの活動内容を交えて講演した。

土砂災害防止で市町への協力体制

県土木部防砂防課からの要請により、5地区の土木事務所ごとに窓口担当者として5名を選出し、県へ通知しました。

県では、今年度各市町において「防災意識向上プログラム」に取り組むこととしており、土砂災害危険地区のなかから研修する地区を選定し、①勉強会②地区防災マップ作成③避難訓練を行う計画であり、当会の各担当者は各市町からの要請に基づきプログラムの日程調整やプログラムのサポートをしていくこととなります。

当会窓口担当者は次の皆さん

南加賀地区（加賀市・小松市・能美市・川北町）

山本 誠廣氏

石川地区（白山市・野々市市）

大月真由美氏

県央地区（金沢市・かほく市・津幡町・内灘町）

杉村 良洋氏

中能登地区（七尾市・羽咋市・中能登町・志賀町・宝達志水町）

白山小太郎氏

奥能登地区（輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）

中山 幸永氏

防災活動で着用する「ベスト」を斡旋しています

会員の皆様が活動される際に着用する「ベスト」を斡旋することになりました。

サイズはXL（普通サイズ）とXXL（大きいサイズ）の2種類。斡旋価格は1600円。

希望者は事務局までメール（アドレスは広報紙表題に記載）で申し込んでください。

申込の際には希望サイズを必ず記載してください。

代金は、ベスト送付する際に振込用紙（振込手数料54円必要）を同封しますので振り込んでください。ゆうちょ銀行通帳からゆうちょ銀行通帳への自動送金でもできます。（月1回まで無料）



MRO現地報道への協力体制について

MRO（北陸放送）から石川県危機対策課を通じて依頼あった、河川氾濫や土砂災害などの自然災害が発生したときに発災現場からの中継報道に当会が協力することになり、5月16日（木）に協力者 名をMROへ連絡しました。

協力していただく方は次のとおりです。

氾濫危険河川や土砂災害危険地域の近くにお住まいの方がよいと思いますが、事務局では把握できませんので、私こそはと思われる方は事務局まで申し出てください。

今後、順次追加変更していきたいと考えています。

MRO災害時の現地報道担当者					
NPO法人石川県防災士会					
市町	氏名	〒	住所	携帯電話番号	備考
金沢市	中野 忠史	921-8064	金沢市米泉町8-7	080-3049-345 2	高橋川
	福谷 正信	921-8164	金沢市久安3-171	090-2123-330 0	伏見川
	横浜 恵	920-0811	金沢市小坂町北195-2	090-2379-861 4	金腐川
	坂本 泰広	921-8103	金沢市西大桑町1-12	090-7080-1368	
	木下 千鶴	920-0001	金沢市千木町リ6-6	090-2564-3343	
	島崎 信隆	920-0035	金沢市金石東2-13-2	080-3042-7579	
	八田 孝三	920-3103	金沢市湖陽2-69	090-3297-684 9	森下川
	松田 陽	920-0862	金沢市芳斉1-7-20 パークサイド玉川412	090-7081-3312	
	山崎 陽子	920-0853	金沢市本町1-7-2 みやびる金沢407	090-5173-0125	
	西尾 耕一郎	920-3132	金沢市法光寺町190-2	090-3765-2403	
	縄野 勉	920-0348	金沢市松村2-126	090-4320-4767	
	三保 優子	920-0373	金沢市みどり1-8-1	090-8268-9338	
	越原 智恵子	921-8044	金沢市米泉町6-95-1	090-2120-504 3	高橋川
	鈴坂 忠和	920-1162	金沢市鈴見町二49-1	090-3291-8954	
	竹川 操枝	920-0005	金沢市高柳町ソ2-55	090-8965-1066	
	上野 秀雄	920-0005	金沢市高柳町10-1-13-3303	090-8093-6458	
白山市	大月 真由美	920-2146	白山市日向町イ12	090-2120-9005	
	藤田 武則	920-2167	白山市部入道町口61	090-9443-7060	
	中島 辰史	924-0016	白山市宮永市町22-1	090-2127-1892	
小松市	山本 政廣	923-0311	小松市木場町イ150-1	090-7081-1680	
	宮崎 喜昌	923-0305	小松市島町力15	090-3292-3162	
かほく市	油野 そとえ	929-1177	かほく市白尾リ65-1	076-283-0315	
	大和 誠史	929-1113	かほく市指江ト50-1	090-2833-1089	
	南 文夫	929-1171	かほく市木津二158	090-7083-6303	
宝達志水町	鍛冶 庄一郎	929-1332	宝達志水町北川尻レ67-1	090-3293-6650	

	石井 義夫	929-1344	宝達志水町今浜夕-153	090-8095-5669	
津幡町	國田 行男	929-0346	津幡町字湯端464-4	090-2093-0487	
野々市市	小寺 くるみ	921-8805	野々市市稲荷4-409	090-3292-0407	
中能登町	常光 利恵	929-1602	中能登町能登部上口12	090-1632-4802	
	稲葉 勇雄	929-1703	中能登町春木7-70	090-7081-3688	
	菊地 俊成	929-1635	中能登町高畠井部5 御祖郵便局長	090-7588-0958	
七尾市	白山 小太郎	926-0033	七尾市千野町戊46	090-2838-5403	
	大星 正嗣	926-0052	七尾市山王ツ41	090-5170-0967	
輪島市	下 善裕	928-0078	輪島市鳳至町稲荷町114-10	090-4322-6641	
	宮下 忠	927-2126	輪島市門前町能納屋7-12甲1	090-4329-5883	
内灘町	山崎 哲雄	920-0274	内灘町向栗崎4-161-5		
能登町	中山 幸永	928-0331	能登町柳田七部108	090-3885-5140	
	市濱 等	927-0609	能登町新保2字25番地3	090-2375-8119	
穴水町	増野 孝志	927-0207	鳳珠郡穴水町沖波木-275	090-1638-2568	
能美市					
加賀市	中田 隆彦	922-0027	加賀市大聖寺耳聞山町99-1 大聖寺中央通郵便局長	090-3296-2519	
志賀町					
川北町					
珠洲市	角 豊光	927-1212	珠洲市熊谷町11部22-1	080-3048-7255	
	坂 登三雄	927-1304	珠洲市馬縹町13字60	090-2031-9222	

穴水町防災士会設立へ

奥能登2例目 10日、町役場で総会

穴水町防災士会の設立総会が10日、町役場で開かれた。奥能登二市二町では二〇一五年に誕生した能登町に続いて二例目。

穴水町生活環境課によると、町内には百八十八人の防災士がいる。加入義務はないが、既に半数を上回る百人以上が加入する意思を示している。情報共有や意見交換できる機会をつくり、連携を深めてもらう。

本年度、防災士を対象にしたアンケートを行い、設立を望む回答が多く寄せられた。小谷政一課長は「これまで以上に横のつながりが生まれ、共助が強くなる」と期待する。事務局は同課に置き、加入費は徴収しない。

総会の後、県防災士会の講演会や穴水消防署による初期消火の説明がある。

(田井勇輝)

北 国 新 聞



穴水町防災士会の設立総会
＝同町役場

穴水町防災士会が発足

会員同士の
ネット集く

穴水町防災士会の設立総会

は10日、町役場で約50人が出席して開かれた。会員

同士のネットワークを築き、防災・減災に関する知識や技術を高めて地域の防

災力を強化する。

町内では188人が防災士の資格を持ち、このうち

107人が入会した。出前講座や研修会、自主防災組

織との連携、会員相互の交流などを通して資質の向上に努める。会長に勝井寛千

男さん(同町)を選んだ。任期は2年となる。

総会后、県防災士会の福谷正信事務局長が講演し、

穴水消防署員が初期消火について説明した。会長を除く役員は次の皆さん。

- 副会長 増野孝志 加代正▽理事
- 丸金良二、坂本貴

災害対応 カードで素早く 伏見高



作成した災害時アクションカードを
職員らに配る 伏見高

災害対策本部、避難講習班、救護班の3班、計4人のカードを用意した。カードにははがき大で書かれます。表に班名と任務、裏には警察や消防、県危機対策課などの連絡先が記されている。

例えば「避難講習班(3)」のカードには「△ハンドマイクを受け取って職員発表

初動に生かす

待機Ⅰが避難講習を確認し、B棟1階男子トイレ前で避難講習班に残った人がいないか確認しなどと任務が時系列で示されている。優先順位が一目で分かるよう赤、黄、緑と色分けした。

カードの作成は1月に開いた職員向けの防災研修で、県防災士会の大月真由美副理事長が紹介したのをきっかけに始まった。教育現場には、災害対応の要領を逐一記したマニュアルがある。ただ学校は、

教職員その場で役割分担

大規模災害の発生に素早く対応するため、伏見高は8日までに、教職員が取るべき行動を個人別に記した災害時アクションカードを作成した。職員室に配備し、災害後に集まった教職員に配ってその場で役割分担する。カードは情報など普及は遅いが、教育現場に導入されるのは原因と珍しく、学校防災の先駆的な事例として専門家を注目している。

授業のコマによって差を直後に参集できる副校長が大きく変動する上、直後はマニュアルをひもどき、余裕はない。どんな時でも「現有の勢力で初動対応できる体制を整えよう」とカードづくりを進めた。

県校によると、県立学校でアクションカードを導入している例は他にないといわれる。大石副理事長は「医

療機関に比べ、学校の防災意識はまだ低い。伏見高の取り組みをきっかけに海内には広がっていくと期待を寄せる。

伏見高は、5月に実施する災害対策訓練の際にカードを使った初動対応の訓練を行う計画としている。中部新聞副編集長は「訓練で使いながら改良を重ねていきたい」と話した。